

CE 研究運営委員の皆様

12月7日と14日に、「情報教育研究会（仮称）」を立ち上げるという案内をいたしました。その趣旨は、当該のメール（[ce-steering 76]）に添付しておきました。

あらためて、「情報教育研究会」を立ち上げる意図について、CEの立場で述べます。

1. 高校を中心とする新しい情報教育への対応は、とても大事なことです。コンピュータと教育研究会が、そういったことだけに、いつまでも全力投球している訳にはいきません。常に新しい課題が発生しますし、会員の日常的な研究レベルを高め、維持していくことが、研究会の第一の責務であると考えます。

2. かといって、これを既存の学会や活動団体に委ねてしまうことには、無理があります。特に、普通教科「情報」の位置づけや、次々期の教育過程の改訂を考えたとき、私たちが長年にわたって努力してきたことを引き継いで、且つ、高校の先生などと一緒に研究を進めて行くには、新しい研究組織をおくのがいいと考えます。

3. 幸い、旧冬12月22日の「情報教育研究会（仮称）」の旗揚げに集まってくださった方々は、わたしたちがCEの研究会や夏の情報教育シンポジウム、あるいは初等中等情報教育委員会で努力してきたことをお認めくださって、且つ、実務的に活動する意欲をお持ちです。

4. そこで、CE研究会の方々も、この会のメンバーとなって、「情報教育研究会」を出発させることを提案します。

5. もとよりこれは個人レベルの判断と負担で為すべきことですので、個人としてのご参加をお願いいたします。

6. 実際は、同じ人がCEのメンバーであり、新しい研究会のメンバーともなる訳ですが、二重の負担にはなりません。新研究会では、名簿の整備を始め、会の活動のために、新しい人々が動いてくれています。

7. 新研究会が出来たからといって、CE研究会が初等中等情報教育から離れるということはまったくありません。

当面、両方で活動する必要がありますし、そうでなければ出来ないことがたくさんあ

ります。むしろ、新しい「場」の設置は、新しい方向を創り出していく、と期待できそうです。

8. 新研究会が何をどうするかは、新しいメーリングリスト上で議論して進めて行きます。メーリングリストの準備は済んだのですが、関係者が最初から揃って議論を始めたいと思いつても、動かしていません。特に、CEの研究運営委員の方々に、ご関心をお持ちの方には是非、最初から入っていてほしいと思います。

9. お申し込みは武井 (takei@ics.teikyo-u.ac.jp) までお願いします。研究運営委員であってもなくても、申し込み先は同じです。近隣の方々に誘ってくださるのは、もちろん大歓迎です。仮の趣意書として、先述の発会の呼びかけ文書を使ってください。

10. 近日中に新研究会のメーリングリストを始動させます。議論のアーカイブは公開になります。しかし、MLへの投稿は会員に限らせていただきます。

11. MLの立ち上げ後、もっと広い範囲に声を掛けていきます。

12. その発足前に、何か考えておくべきことがあったり、お気づきのことがありましたら、どうかご指摘ください。

武井 恵雄(TAKEI Shigeo)

<http://www2.ics.teikyo-u.ac.jp/>